

平成26年度資源評価票(ダイジェスト版)

[Top](#) > [資源評価](#) > [平成26年度資源評価](#) > [ダイジェスト版](#)

標準和名 ヒラメ

学名 *Paralichthys olivaceus*

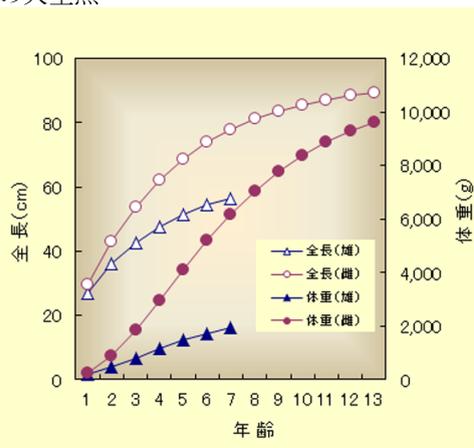
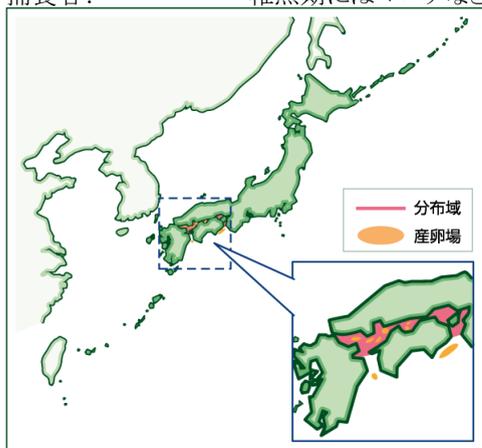
系群名 瀬戸内海系群

担当水研 瀬戸内海区水産研究所



生物学的特性

寿命: 15歳程度
 成熟開始年齢: 2歳(雄52%、雌75%)、3歳(雄91%、雌82%)、4歳以上(100%)
 産卵期・産卵場: 東部海域は2~5月、中西部海域は3~6月
 索餌期・索餌場: ほぼ周年、瀬戸内海全域、紀伊水道、豊後水道及び四国の太平洋沿岸域
 食性: 着底後の稚魚は主にアミ類、仔魚等、成長に伴い魚食性に移行
 捕食者: 稚魚期にはマゴチなどの大型魚

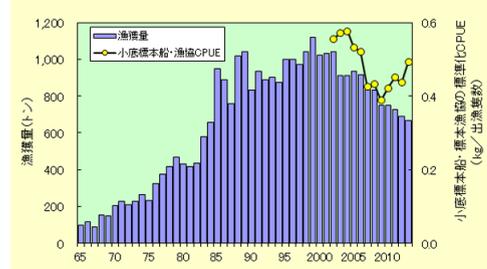


漁業の特徴

主に小型底びき網、刺網、定置網によって漁獲される。漁法別の漁獲割合は、2013年では小型底びき網が58%、刺網が25%、定置網が12%であった。秋に未成魚、冬~春に成魚を中心に漁獲される。本種は栽培対象種で、2012年には282万尾の人工種苗が放流され、放流魚の混入率は25%、添加効率(放流魚の漁獲加入までの生残率)は0.11と推定された。漁獲努力量は減少している。

漁獲の動向

漁獲量は1970年代前半までは200トン前後であったが、1970年代後半から1980年代にかけて増加し、1988年には1,000トンを越えた。1999年には最高値の1,118トンとなり、2002年まで1,000トン程度が続いたが、2003年以降は1,000トンを割り込み、2012年は691トン、2013年は668トン(概数値)であった。

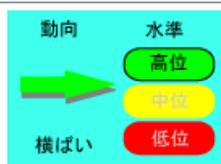


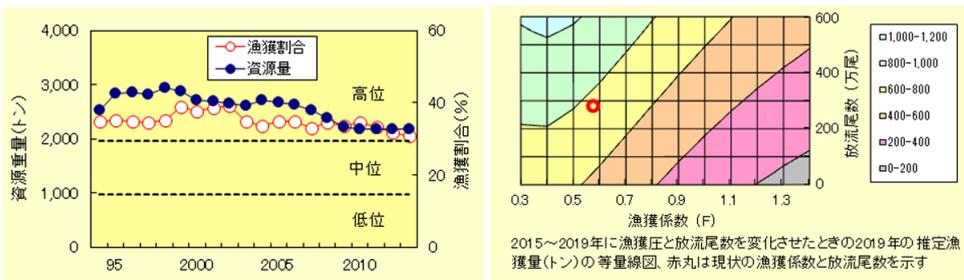
資源評価法

1994~2013年の年別年齢別漁獲尾数を使用し、コホート解析で年別年齢別資源尾数を推定した。加入は0歳、5歳以上をプラスグループとし、4歳と5+歳の漁獲係数が等しいと仮定した。2013年の4歳魚の漁獲係数は、標本船・標本漁協のCPUEと一致するようチューニングにより推定した。

資源状態

資源量は、1998年に最高の2,944トンとなった後に徐々に減少し、2013年は2,172トンとなった。親魚量は、最大であった2000年の1,652トンからやや減少して、2013年には1,409トンとなった。資源量の0~最大値の間を三等分してそれぞれ低位、中位、高位とすると、2013年の資源水準は高位にある。近年5年間の資源量と標本船、標本漁協のCPUEから動向は横ばいと判断した。放流尾数を減少させたとしても、同時に漁獲圧を減少させることができれば、現状の資源量を維持できる可能性がある。





管理方策

Blimitは再生産関係において最大加入量の50%が得られる親魚量826トンと設定した。2013年の親魚量(1,409トン)はBlimitを上回っている。資源は高位水準であるため、現在の資源水準を維持することを管理目標とし、ABC算定のための基本規則1-1)-(1)に基づき、2015年のABCを算定した。ABClimitとして前年同様に現在の資源水準を維持する漁獲係数 F_{sus} を求めたところ0.64となり、現状の漁獲係数 $F_{current}$ より大きい値となった。最近年の資源評価の不安定性から漁獲圧の増大は望ましくないと判断し、Flimitは2013年の漁獲係数 $F_{current}$ とした。ABCtargetの安全率 $\alpha = 0.8$ とした。

| | 2015年ABC | 管理基準 | F値 | 漁獲割合 |
|-----------|----------|------------------|------|------|
| ABClimit | 676トン | $F_{current}$ | 0.57 | 29% |
| ABCtarget | 564トン | $0.8F_{current}$ | 0.46 | 24% |

- 漁獲割合はABC/資源量
- F値は完全加入年齢である2歳の値

資源評価のまとめ

- 資源は最高であった1998年からやや減少しているが、現状でも高位水準にあり、動向は横ばいである
- 親魚量は安定しており、Blimitを越えている。
- 近年5年間のCPUEは横ばいである

管理方策のまとめ

- 現状の漁獲圧・放流尾数で資源の増加が見込まれる
- 放流尾数を減少させたとしても、同時に漁獲圧を減少させることができれば、現状の資源を維持することができる
- 漁獲圧は減少傾向である

執筆者: 阪地英男・山本圭介

資源評価は毎年更新されます。